

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金

登米市立柳津小学校 教諭 6学年 鈴木 操

実施年月日：令和2年6月17日 13名

1 実践計画・指導のねらい

人々の願いを実現するための費用には、市民や会社などから集められた税金や、国や県からの補助金などが使われる。児童にとって身近な消費税については多少知っているものの、なぜ税が必要でどのように使われているのかということへの興味・関心が高いとは言えない実態がある。わたしたちの生活や社会を支えるために大切な税金について調べたり考えたりすることで、税金について正しく理解させていきたい。また、税金が使われている場面に着目して調べいくことで、税金が果たす役割を理解するとともに、一人一人の納税が社会を支えていることについて気付かせ、政治への興味・関心を高めていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	税金について知っていることを出し合い、税金の種類と使い道について調べていくことを確認する。	○ 税金について知っていることを出し合います。 ● 物を買うときに消費税がかかる。車や家にも税金がかかる。 □ 使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 教科書「新しい社会」政治・国際編 p27
2	ゲストティーチャーを招き、税金についての話を聞くことで、税金の必要性について理解する。	○ 税金にはどのようなものがありますか。 ● 消費税、自動車税、住民税 ○ 税金はどのようなところで使われていますか。 ● 公共施設、道路、学校 ○ 税金がなくなったらどうなるでしょう。 □ 使用教材名 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 ○ 税金が使われているところはどこでしょう。 ● 考えながらカードを分別する。
3	市の収入や支出の内訳から税金がどのように使われているかを調べる。	○ 市の収入にはどのようなものがあるでしょう。 ● 税金、補助金、借入金 ○ 集めた税金はどのように使われるでしょう。 ● 教育、医療、ごみ処理、公共事業 □ 使用教材名 副教材 登米市の予算とまちづくり 登米市広報 教科書「新しい社会」政治・国際編 p42～43
4	税金について調べたことや考えたことをまとめ、意見を交流し合う。 ※ 「税に関する標語」コンクールの出品への意欲付けを図る	○ 学習を振り返り、まとめをしましょう。 ● 人々の願いを実現するための費用に税金は使われている。 ● 税金はわたしたちの生活や社会を支える大切なものである。 □ 使用教材名 副教材 わたしたちのくらしと税金 おじいさんの赤いつば

【指導のポイント】≪1時間目≫

税金についてのクイズをしたり、児童にとって身近な消費税を取り上げて考えさせたりすることで、興味・関心を高めることができた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

税務署からゲストティーチャーを招き、クイズやDVD視聴など様々な手立てを講じながら分かりやすく説明いただくことで、税金の必要性について気付かせることができた。

【指導のポイント】≪3時間目≫

教科書と登米市の資料を合わせて考えていくことで、身近な問題として捉えさせることができた。

【指導のポイント】≪4時間目≫

税金があることで自分たちのくらしが守られていることを確認した上で、税に関する標語の中に、その思いを表現させるようにした。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ ゲストティーチャーからの分かりやすい資料提示や説明により、児童は税金の必要性を理解するとともに、税への関心を高めることができた。
- ◎ 消費税や、登米市の税の使われ方など、児童にとって身近なものを資料として提示することで、学習への意欲付けを図ることができた。自分たちも税金を支払っていること、税金によってくらしが守られていることを実感させることができた。
- ◆ 税に関する用語やその理解については個人差があることから、できるだけ易しい表現で分かりやすく説明していくことが必要だと感じた。
- ◆ 税の学習は、国や市の政治・経済に目を向けさせるよい機会になった。児童に興味・関心を持たせていく手立てとして、新聞や広報等を活用しながら継続して考えさせていくことが大切であると考えている。